



介護の ドラマツルギー

老いとぼけの世界

9月
下旬刊

〈いま、ここ〉で必要な
ヒントが見つかります!

村瀬孝生 (宅老所よりあい)
安立清史 (社会学)

定価 1800円(税別)
四六判・200頁
ISBN 978-4-86329-315-1
C0036



《目次から》

- Ⅰ ことば
心を手放す(村瀬孝生)
介護にとって「ことば」とは何か
(安立清史)
- Ⅱ ころろ
もうひとつのこの世(村瀬孝生)
ころろが離れていくときのドラマ
(安立清史)
- Ⅲ ドラマツルギー
成仏と供養(村瀬孝生)
夢幻能の一夜(安立清史)
- Ⅳ アメイジング
「私」の手放し(村瀬孝生)
老人性アメイジング
(安立清史)
- Ⅴ いのち
まるごとのいのち(村瀬孝生)
勝手にやってくる希望
(安立清史)

老いの前では 言葉は無力か？

〈いま、ここ〉で必要なことは——。
本書は、老いてゆく人とそれを見守る
人たちに読んでもらいたい。
ひとりひとり違う老いのエピソードを
新たな視点で紹介。老いを受け容れる
視野が広がります。

《著者の横顔》

村瀬孝生(むらせ・たかお)
特別養護老人ホーム「よりあいの森」「宅老所よりあい」「第2宅老所よりあい」の統括所長。1964年生まれ。東北福祉大学卒業後、出身地である福岡県飯塚市の特別養護老人ホームに生活指導員として勤務。その後、福岡市にある「第2宅老所よりあい」に入職し、現在に至る。
著書に、『ぼけてもいいよ——「第2宅老所よりあい」から』(西日本新聞社、2006)、『新增補版 おばあちゃんが、ぼけた。』(新曜社、2018)、『看取りケアの作法：宅老所よりあいの仕事』(雲母書房、2011)、『ぼけと利他』(ミシマ社、2022)、『シンクロと自由』(医学書院、2022)。

《著者の横顔》

安立清史(あだち・きよし)
1957年生まれ。九州大学名誉教授。超高齢社会研究所・代表。
専門は、社会学、高齢社会研究、ボランティア・NPO論。
著書に、『福祉社会学の思考』(弦書房、2024)、『福祉の起源』(弦書房、2023)、『ボランティアと有償ボランティア』(弦書房、2022)、『21世紀の《想像の共同体》—ボランティアの原理 非営利の可能性』(弦書房、2021)、『超高齢社会の乗り越え方—日本の介護福祉は成功か失敗か』(弦書房、2020)、『福祉NPOの社会学』(東京大学出版会、2008)など。

【FAX: 092-726-9886】

地小出版 流通センター 取扱品	書店・ 帖合	冊	介護のドラマツルギー 老いとぼけの世界	村瀬孝生・安立清史	定価 1800円+税 ISBN 978-4-86329-315-1	
		冊	福祉の起原	安立清史	定価 1950円+税 ISBN 978-4-86329-262-8	
		冊	もうひとつのこの世	石牟礼道子の世界	渡辺京二	定価 2200円+税 ISBN 978-4-86329-089-1
		冊	生きた言語とは何か 思考停止への警鐘	大嶋仁	定価 1900円+税 ISBN 978-4-86329-273-4	
		ご注文日	弦書房 —Genshobo— 〒810-0041 福岡市中央区大名2-2-43 ELK大名ビル301 TEL:092-726-9885 FAX:092-726-9886 URL http://genshobo.com/ e-mail books@genshobo.com			
		ご担当者様				
様 [/]						